



# 琉球大学学術リポジトリ

University of the Ryukyus Repository

Title	沖縄県高校生のスポーツ調査
Author(s)	外間, 政太郎; 浜元, 盛正
Citation	琉球大学教育学部紀要 第二部(25): 97-104
Issue Date	1981-12
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/1361">http://hdl.handle.net/20.500.12000/1361</a>
Rights	

# 沖縄県高校生のスポーツ調査

外 間 政 太 郎  
 浜 元 盛 正

A Survey of the Sports Activity  
 in High School Students of OKINAWA

SEITARO HOKAMA  
 MORIMASA HAMAMOTO

(Received July 10, 1981)

## I はじめに

教育県と言われる長野県は昭和53年国体を終了し、その高体連の研究調査専門委員会に於て行なわれたアンケート調査がまとめられている。昭和62年国体を迎える沖縄県の高校生のスポーツに関する現況を同様の質問紙により把握検討し反省資料とする事は意義あることと思われる。

## II 調査の方法

本調査は、北部、中部、南部、那覇、宮古、八重山地区より全日普通高校6校を選出し、各学年男女各100名、計600名、総計3600名を目的として質問紙を配布及集取した。(昭和55年12月実施)

## III 調査結果と考察

### 1. 調査の対象について。

- ① 表1-1の「人員数」、より回収率は、男子76.7%、女子88.7%である。
- ② 表1-2により「健康状態」は、健康者が91%、不健康者は6%位である。無記入3%位
- ③ 表1-3により、スポーツ系の入部者は男子39%、女子21%であるが上級に進むにつれて減少している。スポーツ部に魅力を失ったり受験勉強のため等の理由が考えられる。

文化系の方は男子5%、女子12%と意外にも少ない感を受ける。豊かな有意義な高校生活を持つ為に、文化的

な意欲を持たせる様な指導が必要であろう。

中途退部は20%である。

無加入者は男子35%、女子47%である。

### (調査の対象)

表1-1 調査人員

全日普通 地区代表 高校	1男	2男	3男	計	1女	2女	3女	計
	456	461	463	1380	531	544	522	1597
	回収率76.7%				回収率88.7%			
	男女合計 2977				回収率 82.7%			

表1-2 健康状態

	1男	2男	3男	計	1女	2女	3女	計
①健康である	405	425	419	1249	488	498	482	1468
	% 88.8	% 92.2	% 90.5	% 90.5	% 91.9	% 91.5	% 92.3	% 91.9
②病気がち	22	16	19	57	15	25	17	57
	% 4.8	% 3.5	% 4.1	% 4.1	% 2.8	% 4.6	% 3.3	% 3.6
③通院中	12	8	12	32	17	13	11	41
	% 2.6	% 1.7	% 2.6	% 2.3	% 3.2	% 2.4	% 2.1	% 2.6
④無記入	17	12	13	42	11	8	12	31
	% 3.7	% 2.6	% 2.8	% 3.0	% 2.1	% 1.5	% 2.3	% 1.9

3. 昭和62年沖縄国体に寄せる関心度。(表3)

表1-3 部活動の有無

	1男	2男	3男	計	1女	2女	3女	計
①スポーツ系	215	190	134	539	148	120	71	339
	% 47.1	% 41.2	% 38.9	% 39.1	% 27.9	% 22.1	% 13.6	% 21.2
②文化系	31	12	26	69	59	70	66	195
	% 6.8	% 2.6	% 5.6	% 5.0	% 11.1	% 12.9	% 12.6	% 12.2
③中途退部	83	97	106	286	99	96	111	306
	% 18.2	% 21.0	% 22.9	% 20.7	% 18.6	% 17.6	% 21.3	% 19.2
④無加入	127	162	197	486	225	258	274	754
	% 27.9	% 35.1	% 42.5	% 35.2	% 42.4	% 47.4	% 52.5	% 47.4

2. 生活時間について。(表2)

表2 生活時間調査表

	1男	2男	3男	平均	1女	2女	3女	平均
①運動時間・校内	1:21	1:17	45	時分 1:08	60	45	29	分 45
②運動時間・校外	16	17	19	17	10	10	6	9
③勉強時間	1:06	1:06	1:57	1:23	1:08	1:06	1:32	1:15
④ラジオ・テレビ	2:18	2:20	2:10	2:16	2:08	2:06	1:56	2:03
⑤読書	13	18	23	18	18	26	25	23
⑥お手伝い	33	33	33	33	1:22	1:33	1:31	1:29
⑦自由時間	1:16	1:27	1:38	1:27	1:58	2:06	2:01	2:02
				7:22				8:02

校内の運動時間は、男子1時間8分に対し女子は45分で少ない。校外の運動時間は施設等の制約もある様で少ない。

勉強時間の1時間余に対し、テレビの2時間余は逆であることが望ましい。読書時間は少ない。お手伝いは、男子の33分に対し女子は1時間も多いが食事の準備や皿洗い等に使用している様に考えられる。

表3 関心度

	1男	2男	3男	計	%
①開催賛成	327	337	332	996	73.15
②どちらでも良い	95	75	92	262	18.65
③開催反対	12	14	16	42	2.8
④無記入	22	35	23	80	5.4
計	456	461	463	1380	(100)
	1女	2女	3女	計	%
①開催賛成	320	305	297	922	58.05
②どちらでも良い	177	213	175	565	35.15
③開催反対	3	5	18	26	1.7
④無記入	31	21	32	84	5.1
計	531	544	522	1597	(100)
	男女計 2977				

① 昭和62年国体の関心度は、男子73%、女子は58%の賛成で、女子の関心度はや、ひくい。

② 無関心型の者は、男子24%に対し女子は40%で、女子の方が多い。

③ 反対者は男女計 4.5%で少ない。

㊦ 沖縄県のみこの質問を追加した。

4. 運動をする理由について。

1) 運動やスポーツは、「楽しみや気晴らし」としてやる、言い換えれば「好きだからやる」と言う、レクリエーション・スポーツ意識の強い回答が上位である。

2) 次に、「身体を丈夫にする為」とか、特に女子は「運動不足だからやる」と言う回答が多い。これは「健康スポーツ」としての意識を持つものと考えられる。

3) 次に「目的不明」の者が多く、漫然と目的意識もなくやっている様に思われるので、自覚の再認識的教育(目標を明示した体育)が必要であろう。

4) 下位に、「精神的内容を伴った「精神修養のため」「勝利の感激」「仲間づくり」(協力)などの項目があり、目立たないけれども意識にある事がわかる。

表 4 運動の理由

	1男	2男	3男	計	1女	2女	3女	計	
①身体を丈夫に	103	86	68	257	75	57	58	190	2位
②楽しみ気晴し	166	170	233	569	193	200	247	640	1位
③運動不足	45	40	65	150	113	123	74	310	3位
④精神修養	46	58	33	137	35	33	31	99	5位
⑤仲間づくり	13	31	17	61	23	37	10	70	
⑥勝利の感激	35	36	23	94	24	22	7	53	
⑦不明	27	36	13	76	38	48	37	123	4位
⑧その他	6	10	11	27	17	8	13	38	
⑨無記入	32	39	29	100	43	36	66	145	4位

5. 運動部に入っている生徒の回答。

表 5-1 運動部に入部の動機

	1男	2男	3男	計	1女	2女	3女	計
①中学時代よりやっていた	75	56	35	166	36	40	22	98
②友人より勧誘	27	42	24	93	33	28	9	70
③上級生より勧誘	10	14	12	36	7	8	3	18
④先生より勧誘	3	3	2	8	4	1	0	5
⑤家族のすゝめ	6	7	6	19	5	3	0	8
⑥自分の意志で	137	130	75	342	104	86	47	237
⑦その他	8	10	2	20	7	4	2	13
⑧無記入	1	0	0	1	0	0	2	2

◎ スポーツの入部動機は、好きだから「自分の意志」で決定したのが多数である。

次に「中学でやって」いたり、「友人のすゝめ」が多い。「家族や先生のすゝめ」は意外と少ない。

◎ 入部目的は、

1. 好きだから。
2. 技術を習得して上手になりたい。
3. 身体の鍛練。
4. 友人をつくるため。

の順である。「勝利と名誉のため」は少ない。

表 5-2 入部の目的

	1男	2男	3男	計	1女	2女	3女	計
①身体の鍛練	69	71	53	193	45	29	14	88
②好きだから	100	95	62	257	83	70	46	199
③友人が得られる	17	18	23	58	23	18	12	53
④技術を習いたい	56	56	27	139	45	47	25	117
⑤勝利と名誉	23	27	5	55	9	1	1	11
⑥何となく	27	16	5	48	9	17	3	29
⑦その他	6	7	1	14	4	5	2	11
⑧無記入	2	0	1	3	1	1	1	3

表5-3 部の活動状況

a. 年間平均 週の活動日

	1男	2男	3男	計	1女	2女	3女	計
① 1日	3	1	3	7	1	1	4	6
② 2日	0	0	1	1	1	1	1	3
③ 3日	3	4	0	7	1	5	4	10
④ 4日	7	3	5	15	2	9	2	13
⑤ 5日	18	10	11	39	10	11	4	25
⑥ 6日	90	86	51	227	56	59	22	137
⑦ 7日	93	85	47	225	68	33	30	131
⑧ 無記入	2	0	6	8	8	1	4	13

部活動は、1位週6日、2位毎日型が多い。  
次に週5日型で、後は少ない。

b. 1日平均の活動時間

	1男	2男	3男	計	1女	2女	3女	計
① 30分	0	1	2	3	0	0	1	1
② 1時間	3	0	4	7	4	3	1	8
③ 1.5時間	19	7	3	29	16	12	3	31
④ 2時間	60	60	41	161	47	41	19	107
⑤ 2.5時間	59	54	36	149	52	38	18	108
⑥ 3時間	49	40	27	116	29	21	17	67
⑦ 3.5時間以上	16	15	7	38	2	3	2	7
⑧ 無記入	8	8	5	21	7	4	10	21

1日平均 2.5時間、2時間の部が多い。  
次に3時間の部が多い。

理想的には、毎日であれば1時間、週3日で2時間位が適当と考えられるが、その為には「合理的な練習計画」と「良い指導者」をつけることが必要である。

c. 年間平均1ヵ月の日曜祭日活動日

	1男	2男	3男	計	1女	2女	3女	計
① 0日	30	14	16	60	18	22	5	45
② 1日	17	16	12	45	12	10	3	25
③ 2日	22	18	16	56	20	22	7	49
④ 3日	13	20	13	46	14	20	6	40
⑤ 4日	43	25	22	90	22	13	17	52
⑥ 全日	61	72	28	161	42	26	17	85
⑦ 無記入	22	22	16	60	21	8	15	44

男女共日曜祭日休みなしの練習が上位であることは、優勝主義の部が多いことを意味している。

指導者は生徒に勉強時間を与えることも同時に考えるべきである。

表5-4 部の自己負担額

	1男	2男	3男	計	1女	2女	3女	計
① 5千円位	39	19	15	73	30	21	11	62
② 1万円位	32	18	19	69	22	27	9	58
③ 1.5万円位	19	11	14	44	19	5	12	36
④ 2万円位	22	28	16	66	11	14	7	32
⑤ 2~3万円	23	32	21	76	21	21	8	50
⑥ 3~4万円	25	25	13	63	14	8	4	26
⑦ 4~5万円	14	15	5	34	8	6	0	14
⑧ 5万円以上	27	34	14	75	4	5	8	17
⑨ 無記入	15	8	7	30	17	14	10	41

種目により入費も異なると思われるが、入部当初は用具や服装に要するものと考えられる。

表5-5 部活動への希望

	1男	2男	3男	計	1女	2女	3女	計
① 毎日活動の場所が欲しい	25	32	13	70	18	13	9	40
② 専門的指導者が欲しい	51	62	54	167	46	50	25	121
③ 活動予算が欲しい	79	66	50	195	39	31	21	91
④ 家族の理解協力が欲しい	20	13	6	39	25	14	6	45
⑤ その他	24	11	3	38	12	6	2	20
⑥ 無記入	16	13	10	39	10	6	8	24

技術指導の出来るコーチを最も必要とし、次に活動予算を要求している。

表5-6 高体連以外の大会参加（年間参加回数）

	1男	2男	3男	計	1女	2女	3女	計
① 出場しない	77	29	16	122	56	32	11	99
② 1~2回	65	52	26	143	42	35	14	91
③ 3~4回	35	65	31	131	22	26	22	70
④ 5~6回	9	20	31	60	11	7	6	24
⑤ 7~8回	2	0	3	5	0	3	3	6
⑥ 9回以上	2	10	6	18	1	1	3	5
⑦ 無記入	23	14	9	46	15	16	13	44

他の主催する大会に参加する者は、1～2回が多く、次に不参加、3～4回の順である。

表5-7 高体連活動への希望

	1男	2男	3男	計	1女	2女	3女	計
①技術講習をふやして欲しい	29	26	21	76	22	22	18	62
②競技種目をふやして欲しい	9	12	7	28	2	5	2	9
③大会回数をふやして欲しい	76	100	57	233	46	35	19	100
④現状で良い	80	37	26	143	62	52	19	133
⑤その他	4	5	2	11	4	0	2	6
⑥無記入	17	11	15	43	11	9	11	31

高体連への希望として、「大会数の増加」を希望している。次に「現状で良い」、「技術講習」を希望している。「種目の増加希望」は少ない。

## 6. 運動部に入らない理由

表6 不入部の理由

	1男	2男	3男	計	1女	2女	3女	計	男女計
①運動が嫌い	5	21	15	41	23	33	39	95	136
②文化部に加入	27	15	26	68	50	50	50	150	218
③能力がない	20	32	47	99	78	117	107	302	401
④練習がきつい	41	45	62	148	77	102	91	270	418
⑤束縛がいや	48	61	68	177	58	52	62	172	349
⑥時間がかかる	29	33	34	98	50	60	49	159	257
⑦学習に支障	26	34	40	100	16	18	28	62	162
⑧費用がかかる	13	13	7	33	11	23	22	56	89
⑨身体的理由	21	12	21	54	21	30	25	76	130
⑩両親の反対	12	12	7	31	52	41	33	126	157
⑪通学時間要る	26	15	17	58	51	58	58	167	225
⑫其の他	34	41	39	114	41	41	57	139	253
⑬無記入	18	27	75	120	24	20	36	80	200
合計				1141				1854	

1) 運動部に入らない理由として、男子は上位に「束縛がいや」、「練習がきつい」等気力の弱点が現われ、次位に「学習に支障を来たす」、「時間がかかりすぎる」、「運動能力がない」等の理由が上っている。下位の「運動が嫌い」、「両親の反対」、「費用がかかる」等の理由は少い。

「無記入」、「其他」の無関心型（無気力）が気になるけれども「他にやることあるから」と言う回答が目立っていた。

2) 女子の特徴としては、上位に「運動能力がない」、「練習がきつい」等が多く、高体連のエリートスポーツの部について行くことの困難さを示めている様に思われる。

表7 校内でやる運動種目（部活動を除く）

種目名	1男	2男	3男	1女	2女	3女	男計	女計
①バレー	18	9	7	3	6	4	34	13
②バスケット	44	35	37	30	11	6	116	47
③ソフト	1	4	6	0	0	6	11	6
④バドミントン	1	3	1	5	1	7	5	13
⑤テニス	2	10	0	4	15	0	12	19
⑥野球	3	3	12				18	0
⑦サッカー	4	1	15				20	0
⑧ラグビー	0	1	3				3	0
⑨陸上							0	0
⑩剣道	1	0	0	1	0	1	1	2
⑪柔道							0	0
⑫弓道							0	0
⑬空手	0	0	2				2	0
⑭ゴルフ	3	0	0				3	0
⑮卓球	0	5	0	0	2	1	5	3
⑯水泳							0	0
⑰レスリング							0	0
⑱ジョギング	3	9	3	7	8	2	15	17
⑲トレーニング			3				3	0
⑳ローラースケート							0	0
㉑体操	8	1	3	5	4	2	12	11
㉒サイクリング							0	0
㉓相撲							0	0
㉔ダンス				0	1	4	0	5
㉕縄とび	0	1	0	2	1	0	1	3
㉖ハンドボール	1	2	3	0	11	0	6	11
合計	89	84	94	57	60	33	267	150

次に、「束縛がいや」と言う現代子の特性や「時間がかかる」、「通学に時間がかかるから」等の練習時間が長い為に体がつかれたり、通学時間を要する為進学や受験に差支える、帰宅時刻がおそくなるために両親の反対があったり、家事手伝いの時間が少くなる等の時間的問題が生じやすいものと考えられる。

### 7. 部活動以外に校内でやる運動種目。

表7によれば、校内での活動種目は上位に男子のバスケットボールがある。体育館や屋外コートが最も利用されている様である。次にバレー、サッカー、野球、ジョギング、女子のバスケ・テニス・ジョギング・バレーの順でその他の種目は活動が少くない。

正課が放課後に進展する様な指導を工夫すべきであろう。

### 8. 校内で運動をやらなかった理由。

表8によれば、その他・無記入の数が示めす様に無関心型が多い。特に女子は「運動がきらい」と表明し、「施設用具の不備」を口実に仲間づくりも困難の様に見受けられる。

運動部に属しない一般生徒の余暇スポーツ健康スポーツの為に、校内競技を盛んにしたり、施設の使用区分、時間割当て等を創意工夫して生涯スポーツへの動機づけをする考えを進展すると良いと考える。

表8 校内で不運動の理由

	1男	2男	3男	計	1女	2女	3女	計	男女計
①場所がない	71	67	53	191	98	82	82	262	453
②用具がない	53	54	45	152	59	69	42	170	322
③運動がきらい	20	24	25	69	62	100	75	237	306
④勉強したい	23	37	48	108	18	23	38	79	187
⑤文化部加入	27	14	22	63	38	36	23	97	160
⑥仲間がいない	32	34	46	112	45	43	39	127	239
⑦病身体	14	5	6	25	8	6	8	22	47
⑧その他	97	106	98	301	149	143	125	417	718
⑨無記入	87	101	93	281	115	91	143	349	630
合計				1302				1760	3062

### 9. 校外で行った運動種目について。

表9によれば、男女共ジョギングが上位を占めている。社会体育施設が乏しい中で道路広場の利用が簡単である。次に男子の野球、女子のテニスが最近の流行である。中に縄跳、バレー、バスケ、体操、バドミン、卓球と続いている。その他の種目は実施者が少ない。

表9 校外でやった運動種目（最近1週間）

種目名(注:名の2つ記入)	1男	2男	3男	1女	2女	3女	男計	女計
①バレー	17	16	9	18	18	9	42	45
②バスケット	10	19	23	8	3	7	52	18
③ソフト	0	0	2	0	3	0	2	3
④バドミントン	6	6	4	3	19	13	16	35
⑤テニス	14	17	21	8	23	29	52	60
⑥野球	28	28	56	3	3	5	112	11
⑦サッカー	9	14	13				36	0
⑧ラグビー	0	1	1				2	0
⑨陸上	1	0	0				1	0
⑩剣道	0	1	1	0	0	1	2	1
⑪柔道・すもう		5	1				6	0
⑫弓道							0	0
⑬空手	1	4	2	0	0	1	7	1
⑭なわとび	3	9	5	13	21	13	17	47
⑮卓球	13	9	2	4	2	6	24	12
⑯水泳	0	1	2				3	0
⑰ジョギング	53	77	54	43	61	86	184	200
⑱トレーニング	0	3	1				4	0
⑲スケート	3	0	3	6	5	2	6	13
⑳自転車・バイク	3	6	2	0	3	0	11	3
㉑ボーリング	6	7	10	1	0	4	23	5
㉒ゴルフ	6	3	5	0	1	0	14	1
㉓ハンドボール	3	2	0	0	3	1	5	4
㉔体操	9	22	11	8	10	20	42	38
㉕ダンス	2	0	0	0	0	2	2	2
㉖ハングライダー				0	0	3	0	3
合計	190	248	227	115	175	202	665	502

### 10. 校外で運動をしなかった理由について。

表10によれば、「自分の好きなことに時間をかけた」と答えた者が上位である。

次に「場所がない」、「部活動で充分」、「家事手伝いのため」、「無関心型の「無記入」が多い。

表10 校外で不運動の理由

	1男	2男	3男	計	1女	2女	3女	計	男女計
①部活動で充分	80	80	27	187	66	56	6	128	315
②運動がきらい	12	14	10	36	28	33	31	92	128
③場所がない	38	40	41	119	80	68	75	223	342
④仲間がいない	24	27	38	89	57	34	30	121	210
⑤用具がない	22	25	35	82	30	26	29	85	167
⑥病身体である	6	1	5	12	8	4	5	17	29
⑦テレビ見すぎ	23	28	31	82	25	31	16	62	144
⑧勉強したい	18	23	36	77	8	12	18	38	115
⑨塾・けい古	2	2	5	9	5	7	11	23	32
⑩好きなことを	98	113	120	331	205	204	176	585	916
⑪家事手伝い	12	12	9	33	85	112	80	277	310
⑫その他	27	23	27	77	24	20	45	89	166
⑬無記入	41	33	44	118	40	28	60	128	246
合計				1252				1868	3120

### Ⅲ まとめ。

#### 長野県と沖縄県の相異の特徴。

#### 1. 部活の有無について。

- ①部活動は、長野の男子78%、女子80%で、  
沖縄は男子44%、女子33%で少ない。
- ②中途退部者は、長野の男8%、女8%で、  
沖縄は男20%、女19%である。
- ③入部してない者は、長野男14%、女11%で、  
沖縄は男35%、女47%が多い。

#### 2. 生活時間について。

- ①校内の運動時間は、長野男1時間23分、女1時間5分、  
沖縄は男1時間8分、女45分。

- ②勉強時間は、長野男2時間14分、女約2時間、  
沖縄男1時間23分、女1時間15分である。
- ③お手伝いは、長野男24分、女58分に対し、  
沖縄は男33分、女1時間29分である。

3. 国体に対する関心の度合は会期の接迫につれて向上  
することが期待される。

4. 運動をする主な理由で、長野の上位「楽しみと気晴  
らし」35%に対し、沖縄は41%である。

#### 5. 運動部加入者について。

- ①長野も沖縄も大体同様の傾向である。
- ②高体連に対する希望として、長野の「現状で良い」43  
%に対して、沖縄は「大会数の増加」を希望している。

#### 6. 運動部に入らなかった理由

- ①長野の「文化部に加入」「運動能力がない」男子の「束  
縛がいや」の順に対し、沖縄では、「束縛がいや」「練習  
がきつい」女子の運動能力がない」等の理由が前面に出  
ている。

#### 7. 部活動以外の校内運動種目。

長野男子は、卓球・野球・バスケ・ソフト・バドミン  
・テニスの順。女子はバレー・テニス・バドミン・ジョ  
ギングの順に多い。

沖縄男子は、バスケ・バレー・サッカー・野球・ジョ  
ギングの順。女子はバスケ・テニス・ジョギング・バレー  
の順である。

#### 8. 校内で不運動の理由。

長野の「文化部に入っているから運動しない」の特徴  
以外は同様な理由を挙げている。

#### 9. 校外の運動種目。

長野男子は、野球・ジョギング・テニス・卓球の順で、  
女子はトレーニング・テニス・バドミン・ジョギングの  
順である。

沖縄男子は、ジョギング・野球・バスケ・テニスの順。  
女子は、ジョギング・テニス・なわとび・バレーの順で、  
ポピュラーなスポーツと健康スポーツを好んでやる特徴



が見られる。

10. 校外で不運動の理由。

長野・沖縄とも同様の理由で「自分の好きなことをしたい」「施設用具がない」「仲間がいない」等の理由を挙

げている。沖縄女子は「家事手伝い」の理由も挙げている。

V. 参考文献

- ① 前川峯雄他編：スポーツクラブ
- ② 平澤・糸野編：生涯スポーツ
- ③ 長野県高体連編：昭55高体連会報